

## 会よりのお知らせ

### ○平成2年度光学論文賞応募論文募集

平成2年度光学論文賞の応募論文を募集いたします。応募資格等の要領は以下の「光学論文賞規定」に準じます。自薦、他薦ともに歓迎いたします。応募締切は平成2年10月31日です。応募および不明な点の照会先は「光学」編集委員長、本田捷夫(〒227 神奈川県横浜市緑区長津田町 4259 東京工業大学工学部像情報工学研究施設、電話 045-922-1111 内線 2090)です。

昭和34年6月  
昭和54年9月 改訂

#### 光学論文賞規定

応用物理学会  
光学懇話会

- この規定は光学に関する優秀論文に対して応用物理学会が行う表彰について定める。
- この表彰を「光学論文賞」という。
- 表彰の対象となる論文は原則として表彰時の前年9月までの1カ年間に発行された「光学」、「応用物理」[Jpn. J. Appl. Phys.]または他の刊行物に発表されたものとする。  
但し数年間に亘り継続発表されたものも含む。
- 表彰は論文著作者に対する賞状授与および記念品贈呈とする。
- 授賞論文数は毎年2件以内とする。
- 授賞は毎年応用物理学会春期講演会中に行う。
- この賞の実施に関する諸般の事項の審議および必要な諸案の作成は光学懇話会常任幹事会が行う。
- 受賞候補者の選考は光学懇話会編集委員長が公募に応じた論文をふくめて作成した受賞候補論文リストにもとづいて行う。受賞候補者は原則として満35歳未満の応用物理学会個人会員とする。
- 光学懇話会常任幹事会は毎年9月までに受賞候補者応募要項を「光学」および「応用物理」誌上に公表し広く募集する。
- 論文の審査は光学懇話会幹事長が委嘱した論文審査委員会が行う。
- 受賞候補者が決定した時は光学懇話会幹事長は審査の経過および結果を応用物理学会理事会に報告しなければならない。
- この規定に定めるもののほかに授賞に必要な事項

は、光学懇話会常任幹事会がこれを決定する。

附 則

- この規定は昭和55年4月1日から施行する。
- この規定の有効期限は10年とする。

前記規定は、昨年まで有効となっていますが、今年度はこれを延長して採用し、来年度以後についてはこの賞をより発展させる方向で、改訂する予定です。

### ○平成2年度幹事立候補者募集

平成2年度新選出幹事(任期2年、毎年半数交代)の候補として、本会の運営に熱意のある会員の方々の立候補を希望いたします。役員選挙その他に関する内規は15巻(1986年)4号365ページをご覧ください。立候補は自薦、他薦を問いませんが、他薦の場合は本人の承諾を必要とします。立候補締切は平成2年8月25日(土)です。立候補および不明な点の照会先は庶務幹事、堀川嘉明(〒192 東京都八王子市久保山町 2-3 オリナス光学工業(株)光学技術部、電話 0426-91-7111 内線 4464)です。

### ○平成2年度第3回編集委員会

平成2年6月12日(火)に東京、本郷の三田出版ミタホールにおいて開催され、「光学」各号の編集状況と企画について報告と審議が行われました。

### ○第27回サマーセミナーのお知らせ

平成2年8月30日(木)~9月1日(土)に長野県下諏訪町の山王閣において、「レーザー30年、ファイバー20年」一光エレクトロニクス技術の21世紀への展望一をテーマにサマーセミナーが開催されます。詳細は19巻5号巻末綴込みの案内をご覧ください。

### ○平成2年度光学関西講演会

平成2年10月23日(火)に大阪、守口市の松下電器産業株式会社中央研究所にて平成2年度光学関西講演会が開催されます。詳細は本号557ページの別掲記事をご覧ください。

### ○ホログラフィック・ディスプレイ研究グループ よりのお知らせ

- 平成元年度第4回ホログラフィック・ディスプレイ研究グループ例会の報告  
平成元年度第4回例会は平成2年2月23日(金)午後

2時から千葉大学・西千葉キャンパス・松韻会館で行われました。演題は「Single Frequency of 1300」(Jeffrey L. Cannon・COHERENT), 「He-Cd 白色レーザーの現状」(福家皎・小糸製作所), 「ホログラフィー干渉の話—光学測定機工業会の一メンバーとして」(堀田節夫・中央精機)の3件でした。とくに最初の講演は丸文(株)の協力により米国 COHERENT 社から来ていただいたものです。当日はあいにくの雨天にもかかわらず、約55名の参加があり、熱心な討論がありました。なお、当日は平成元年度の最後の研究会になりましたので、懇親会を行い、また、例年どおりミニ展示会を行いました。

(凸版印刷 岩田藤郎)

●平成2年度第1回ホログラフィック・ディスプレイ研究グループ例会の報告

1990年5月25日(金)デュボン・ジャパン・リミテッド第一会議室において約90名の参加で開催されました。演題は「DU PONT's New Holographic Materials」(T. J. Trout・DU PONT), 「フルカラー重クロムゼラチンホログラム」(水野透・日電装), および「ホログラフィ・アートスクールの経過について」(塩崎由美子・造形作家)でした。会場の定員よりも多数の参加者があり、最初から最後まで立見の人があるほどで、大変活発な討論がなされました。Trout氏の講演では処理プロセスを説明するビデオ上映もあり、好評でした。また、今回の講演者であるWenyon氏とGamble氏の紹介が筑波大学芸術学系三田村教授からありました。

(キヤノン 桑山哲郎)

●平成2年度第2回ホログラフィック・ディスプレイ研究グループ例会の予定

日 時: 1990年8月24日(金) 14:00~17:00

場 所: 筑波大学芸術学系棟

(会場は当日建物入口に表示)

茨城県つくば市天王台 1-1-1

当日の連絡先は筑波大学芸術学系 三田村研究室

電話 0298-53-2833

演 題: 1. 計算機ホログラムの光ディスクへの書き込み

谷田貝豊彦(筑波大学理工学系)

2. 17th Century Optics in 20th Century Art

Wenyon & Gamble(筑波大学三田村研究室に滞在中)

3. 制作実習室の見学/作品展示「筑波大学

芸術学系三田村研究室」

参加費: 会員 無料/一般 1,000円

参加申込: 不要, 当日受付

問合せ先: 〒260 千葉市弥生町 1-33

千葉大学工学部画像工学科

岡田勝行

電話 0472-51-1111 内線 2874

○第7回色彩工学コンファレンスのお知らせ

1990年10月30日(火)~31日(水)に東京、品川のココヨホールにおいて開催されます。詳細は19巻5号巻末綴込みの案内をご覧ください。

○第21回画像工学コンファレンスのお知らせ

1990年12月11日(火)~13日(木)に東京、芝公園のABC会館ホールにおいて開催されます。詳細は19巻5号巻末綴込みの案内をご覧ください。

○関連国際会議のお知らせ

●第6回光波センシング技術研究会—OFS 90 ポストコンファレンス

主 催: 応用物理学会・光波センシング技術研究会

日 時: 1990年12月10日(月), 11日(火)

場 所: 建築会館ホール(東京都港区芝5丁目)

内 容: ①1日目

外国人を主体とする招待講演

ジャイロ, 分布型センサ, 非線形導波路ほか

②2日目

国内からの一般講演

問合せ先: 〒105 東京都港区浜松町 2-12-14 第2日化

ビル 連企画気付

光波センシング技術研究会事務局

電話 03-433-2543 FAX 03-433-2544

●Magneto-Optical Recording International Symposium '91 (MORIS '91)

主 催: 日本応用磁気学会

協 賛: 応用物理学会ほか

日 時: 1991年4月16日(火)~18日(木)

場 所: 日本学会館(東京・市ヶ谷)

問合せ先: 日本学会事務センター内

MORIS '91 事務局

電話 03-817-5836

●Topical Meeting on INTELLIGENT GLASSES

主 催: ICG, Gruppo Nazionale di Elettronica

Quantistica e Plasmi CNR, Stazione Sperimentale del Vetro

日時: 1991年3月16日(土)

場所: ベニス, イタリア

内容: (1) Glasses for Flat Panel Displays plasma displays, electro-luminescent displays, and liquid crystal displays  
(2) Glasses for Reading and Writing Units optical systems for scanners and for printers  
(3) Grasses for Memories magnetic disks, optical disks, and magneto-optical disks

講演申込: 1990年12月15日まで

問合せ先: 〒300-26 茨城県つくば市東光台 5-4

日本板硝子(株)筑波研究所

小泉 健

電話 0298-47-8681 Fax 0298-47-8693

• The International Congress on Optical Science and Engineering (ECO)

日時: 1991年3月11日(月)~15日(金)

場所: The Netherlands Congress Center, The Hague, The Netherlands

問合せ先: 〒565 大阪府吹田市山田丘 2-1

大阪大学工学部電子工学科

栖原敏明

電話 06-877-5111 ex. 5008

• International Conference on Optical Fibre Sensors in China (OFS (C)'91)

日時: 1991年10月9日~11日

場所: Wuhan, China (武漢, 中国)

問合せ先: 〒060 札幌市北区北13条西8丁目

北海道大学工学部工業力学第一講座

大塚喜弘

電話 011-716-2111 ex. 6718

Fax 011-717-4745

### ○ 人事公募

◇ 東京都立科学技術大学電子システム工学科

公募人員: 教授1名

専門分野: 光・通信工学

着任時期: 1991年4月1日

応募資格: ①博士の学位のある方②通信工学関連の授業と大学院博士課程の指導を担当できる方③原則として50歳以上の方

提出書類: ①履歴書②業績一覧③職務調書(以上所定の書式による)④主要論文の別刷

公募締切: 1990年10月30日

申込みおよび問合せ先:

東京都立科学技術大学電子システム工学科  
鈴木勝久

〒191 東京都日野市旭が丘 6-6

電話 0425-83-5111 内線 295

FAX 0425-83-5119

### ○ 新入会員

#### 個人

会員番号	氏名	所属	
A 2443	野沢 信弘	オハラ	
2444	霜田 芳久	セキノス	
2445	船渡 好人	島津製作所	
2446	松坂 茂	国土地理院	
2447	中枝 武弘	旭光学	
2448	松岡 浩	富士写真フイルム	
2449	八木 茂昭	アルプス電気	
B 2132	岡本 卓	北大・応用電気研	
2133	近藤 高志	東大・工	
2134	安達千波矢	九大・材料開発	
2135	伊丹 伸	阿南工業高専	
2136	中塚 宏樹	筑波大・物理工	
2137	鎌田 洋	ATR 視聴覚機構研	
(A-2157 ヨリ)	2138	岡田 佳子	理研・光工学
2139	内田 直也	古河電気・情報通信	
2140	岡嶋 克典	東工大・総理工	
2141	桜井 捷海	東大・教養	
2142	畠山 巖	NTT・電子応用研	
2143	藤田 五郎	ソニー・芝浦 MO 事	
2144	江浦 茂	浜松ホトニクス	
2145	時田 宏典	応用光電	
2146	五神 真	東大・物工	
2147	荒木 敬介	キャノン・複写機開発	
2148	土森 正昭	豊田・中研	

#### 特別会員

特別会員 148	拓殖大学・図書館
149	日本大洋海底電線

## 平成2年度 光学関西講演会

今年度の光学関西講演会を、見学会を兼ねて下記のとおり開催いたします。多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

日 時：平成2年10月23日（火）14：00～17：00

場 所：松下電器産業株式会社 中央研究所 大会議室

大阪府守口市八雲中町3丁目15（地図参照）電話 06-909-1121 内線 2765

主 催：応用物理学会分科会日本光学会，応用光学懇談会

プログラム：（1）講演「最近の電子ビーム描画技術とその応用」

堀 義和（松下電器半導体研究センター）

（2）見学 松下電器産業株式会社 技術館

参加費：無料

交通：地下鉄谷町線守口駅下車徒歩15分

京阪本線西三荘駅下車徒歩15分

問合せ先：〒563 大阪府池田市緑丘1丁目8-31

大阪工業技術試験所 材料物理部 谷川英夫

電話 0727-51-8351 内線 1351

